

「青少年からのメッセージ」の募集結果について（報告）

1 事業の目的

毎年、異なるテーマを設けて、青少年（18歳以下）から作文及び漫画・イラスト形式のメッセージを募集し、入選作品を掲載する作品集を作成・配付することにより、自己表現や自己実現の機会を提供して青少年自身の人格形成に資するとともに、地域社会における青少年の健全育成に対する関心を高める。

2 事業の概要

(1) テーマ

「今、友だちに伝えたいこと」

身近な友達に自分の思いを素直に伝えることを通して、より良い人間関係や日常生活について考える機会とする。

(2) 規格

〔作文部門〕 400字程度の文章（440字以内。ただし、小学1・2年生は200字程度の文章でも可）

〔漫画・イラスト部門〕 1～4コマの漫画・イラスト

(3) 応募資格

市内に在住又は通勤・通学する、小学生から概ね18歳までの者

(4) 募集期間

令和2年6月1日（月）～令和2年7月3日（金）

(5) 応募結果

作文部門13,644点、漫画・イラスト部門231点、合計13,875点

参考：各年度のテーマ及び募集結果

区分		H27	H28	H29	H30	H31	R2
テーマ		平和な未来のために、私にできること	未来の自分のために今がんばること	電子メディアと上手につきあうには	私を支えてくれる人やもの	だれかのためにできること	今、友だちに伝えたいこと
作文	小	3,765	4,824	4,346	5,023	4,829	4,807
	中	7,650	8,480	8,691	9,024	10,366	8,505
	高・一般	111	134	364	299	272	332
	計	11,526	13,438	13,401	14,346	15,467	13,644
漫画	小	211	152	658	149	108	213
	中	56	9	2	9	4	17
	高・一般	2	9	6	4	2	1
	計	269	170	666	162	114	231
計	小	3,976	4,976	5,004	5,172	4,937	5,020
	中	7,706	8,489	8,693	9,033	10,370	8,522
	高・一般	113	143	370	303	274	333
	計	11,795	13,608	14,067	14,508	15,581	13,875

(6) 選考

- ・ 10月5日(月)に審査委員会〔学識経験者、関係団体等(作文部門10名、漫画・イラスト部門10名:別添名簿のとおり)]を開催した。
- ・ 作文部門は、「小学生の部」、「中学生の部」、「高校生・一般の部」別に、漫画・イラスト部門は一括して、入選作品[作品集掲載作品]を選考した。

○ 入選作品[作品集掲載作品]数:合計64作品

- ・ 作文部門 小学生の部:28点(金賞1点、銀賞1点、銅賞2点及び入選24点)
中学生の部:20点(金賞1点、銀賞1点、銅賞2点及び入選16点)
高校生・一般の部:10点
(金賞1点、銀賞1点、銅賞2点及び入選6点)
- ・ 漫画・イラスト部門:6点(金賞1点、銀賞1点、銅賞2点及び入選2点)

参考:審査委員の主な意見

- ・ 新型コロナウイルス感染症の影響の中で考えた、身近な友だちへの思いがしつかりと伝わってきた。
- ・ コロナウイルスによる休校は、特に小学校高学年以上の子どもたちにとって、「友だち」についてしっかりと考える機会にもなっていたことがわかった。
- ・ 高校生にとって自粛期間は人間関係や社会生活を見つめなおす良い機会となっていたのだと感じた。また、その中で改めて友だちに対する感謝の気持ちが芽生えたことが伝わった。
- ・ 小学校の低学年の子どもたちが、飾らない言葉で自分の思いを伝えようとしているところが良かった。
- ・ 中学生や高校生の作品になると、物事に対する考えがより深くなっていると感じた。また、伝えたいことははっきりしていると感じた。
- ・ テーマの対象が、小学生では家庭といった身近なものを扱っているが、中学生になるとさらに広く、地域社会や目の前にはいない不特定多数の人達へと視点が広がっており、中学生らしい文章が書けている。

(7) 表彰

- ・ 入選者へは、学校を通じて賞状等を授与する。

(8) 作品の活用

- ・ 全ての入選作品(64作品)を掲載した作品集を作成し、小学校、中学校、高等学校、中等教育学校、特別支援学校を始め、関係部署、青少年健全育成連絡協議会、公民館及び図書館等に配布する。
- ・ 入選作品は、本市ホームページへの掲載や各学校へのデータ配信などを行い、青少年健全育成のために広く活用する。

令和2年度「青少年からのメッセージ」審査委員会委員

区分	審査委員	所属・役職	審査部門	
			作文	漫画
学識経験者 及び 有識者	橋本 英樹	広島市青少年健全育成連絡協議会理事	○	○
	児玉 真樹子	広島大学教授	○	○
	田原 直樹	中国新聞社論説委員室委員	○ (委員長)	○ (委員長)
	板倉 妙子	広島市地域活動連絡協議会会長	○	○
	三浦 精子	日本児童文学者協会広島支部長	○	
	筒井 恵淳	日浦中学校長(令和2年度広島市中学校教育研究会 国語部会副部会長)	○	
	金山 佳代子	中山小学校長(令和2年度広島市小学校教育研究会 国語部会長)	○	
	城井 文	広島市立大学芸術学部デザイン工芸学科講師		○
	橋本 忍	祇園東中学校長(令和2年度広島市中学校教育研究会 美術部会長)		○
	増田 紀美	己斐上小学校長(令和2年度広島市小学校教育研究会 図画工作部会長)		○
行政関係者	西本 哲也	教育委員会青少年育成部育成課長	○	○
	池岡 晴樹	教育委員会青少年育成部育成課 非行防止・自立支援担当課長	○	○
	橋本 飛雄馬	教育委員会青少年育成部放課後対策課長	○	○
	13名		10名	10名

(敬称略)